

四條畷市議会だより



議長 藤本 美佐子

議長の小部屋

議長としての任期を終え、この一年、議会の円滑な運営と活性化に全力を注いで参りました。市民の切実な声を真摯に受け止め、より良い市政の実現に向けて取り組めたことは大きな誇りです。時代の転換点において、議会が果たすべき役割はますます重要となっています。これからも、地域の安全と発展、そして皆様の暮らしの向上に尽力していく所存です。

主な掲載内容

- 02-03 令和8年2月臨時議会・3月定例議会のあらまし／審議結果
- 04-06 人事案件／決議書／委員会報告／意見書
- 07-10 代表質問
- 11-15 一般質問／政務活動費報告／服装の通年輕装化
- 16 次回定例議会等のお知らせ

3月定例議会及び2月臨時議会のあらまし

令和8年3月定例議会は、2月24日から3月24日まで開会し、本会議初日に市長が述べた市政運営方針を受け、2日目の3月5日に会派の代表者等が代表質問を行いました。

本定例議会では、一般会計、国民健康保険等特別会計と下水道事業会計の令和8年度当初予算をはじめ、報告4件、四條畷市行政手続条例の一部を改正する条例などの一部改正9件、市道の路線認定について、第6次四條畷市総合計画の改訂について、小型動力ポンプ付積載車の取得について、令和7年度一般会計補正予算(第10

号)などの補正予算6件と、公平委員会委員の選任1件、農業委員会委員の任命14件、議会議案3件に加え、議員派遣の件について審議を行い、すべて可決しました。

なお、令和8年度一般会計予算については、議員1名より修正案が提出され、修正案否決、原案可否同数となり、議長の決するところにより原案可決となりました。

また、2月10日に臨時議会を開催し、令和6年度一般会計歳入歳出決算の認定をはじめ、報告1件、一部事務組合議会議員の選挙の件、請願1件について審議を行い、すべて可決しました。

令和8年2月臨時議会審議結果

全会一致で可決等した議案

議案の説明はこちら



件名		議決結果
報告	監査結果報告について(地方自治法第98条第2項の議会請求による事務の監査に係る監査結果報告)	報告終結
決算	令和6年度四條畷市一般会計歳入歳出決算の認定について	認定
選挙	四條畷市交野市清掃施設組合議会議員補欠選挙の件	原案可決
請願	AYA世代若年がん患者在宅療養支援事業および全てのがん患者を対象としたアピランス支援事業の創設に関する請願	採択

請願全文はこちら



令和8年3月定例議会審議結果

○賛成、×反対

審議した議案と議員の賛否		結果	大阪維新の会 四條畷市議会 議員団			畷ビジョン の会		市議会 公明党		なわて 葵風会			会派 に 属さ ない 議員
			柳生	大原	坂本	長畑	島	吉田 (涼)	若松	吉田 (裕)	森本	藤本	
条例 改正	四條畷市都市公園条例の一部を改正する条例の制定について	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	※	×
	四條畷市国民健康保険条例の一部を改正する条例の制定について	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	※	×
	四條畷市介護保険条例の一部を改正する条例の制定について	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	※	×
当初 予算	令和8年度四條畷市一般会計予算 修正案提出:森本勉議員	修正案否決	×	×	×	×	×	×	×	×	○	※	×
		原案可否同数	×	×	×	○	○	○	○	○	×	※	×
	可否同数の時は、議長の決するところによる(地方自治法第116条第1項)	原案可決	×	×	×	○	○	○	○	○	×	○	×
	令和8年度四條畷市国民健康保険特別会計予算	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	※	×
	令和8年度四條畷市後期高齢者医療特別会計予算	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	※	×
その他	第6次四條畷市総合計画の改訂について	原案可決	×	×	×	○	○	○	○	○	○	※	×
補正 予算	令和7年度四條畷市一般会計補正予算(第10号)	原案可決	×	×	×	○	○	○	○	○	○	※	×

※議長は法律により採決に参加できません。

令和 8 年 3 月定例議会審議結果
全会一致で可決等した議案

議案の説明はこちら



件 名		議決結果
報告	例月出納検査結果報告について(令和7年10月分から同年12月分まで)	報告終結
	監査結果報告について(都市整備部、会計課、議会事務局及び行政委員会に係る事務執行についての監査結果報告)	報告終結
	専決処分の報告について(令和7年度四條畷市一般会計補正予算(第9号))	報告終結
	専決処分の報告について(損害賠償の額の決定及び和解について)	報告終結
条例改正	四條畷市行政手続条例の一部を改正する条例の制定について	原案可決
	特別職の職員で非常勤のものの報酬及び費用弁償に関する条例の一部を改正する条例の制定について	原案可決
	一般職の職員の給与に関する条例の一部を改正する条例の制定について	原案可決
	四條畷市消防団員等公務災害補償条例の一部を改正する条例の制定について	原案可決
	四條畷市立認定こども園条例の一部を改正する条例の制定について	原案可決
	四條畷市立小・中学校施設使用条例の一部を改正する条例の制定について	原案可決
その他	市道の路線認定について	可決
	小型動力ポンプ付積載車の取得について	可決
	議員派遣の件	可決
補正予算	令和7年度四條畷市国民健康保険特別会計補正予算(第3号)	原案可決
	令和7年度四條畷市介護保険特別会計補正予算(第3号)	原案可決
	令和7年度四條畷市後期高齢者医療特別会計補正予算(第3号)	原案可決
	令和7年度四條畷市下水道事業会計補正予算(第3号)	原案可決
	令和7年度四條畷市一般会計補正予算(第11号)	原案可決
当初予算	令和8年度四條畷市介護保険特別会計予算	原案可決
	令和8年度四條畷市土地取得特別会計予算	原案可決
	令和8年度四條畷市下水道事業会計予算	原案可決
同意	公平委員会委員の選任について	同意
	四條畷市農業委員会委員の任命について	同意
	四條畷市農業委員会委員の任命について	同意
	四條畷市農業委員会委員の任命について	同意
	四條畷市農業委員会委員の任命について	同意
	四條畷市農業委員会委員の任命について	同意
	四條畷市農業委員会委員の任命について	同意
	四條畷市農業委員会委員の任命について	同意
	四條畷市農業委員会委員の任命について	同意
	四條畷市農業委員会委員の任命について	同意
	四條畷市農業委員会委員の任命について	同意
	四條畷市農業委員会委員の任命について	同意
	四條畷市農業委員会委員の任命について	同意
	四條畷市農業委員会委員の任命について	同意
議会議案	四條畷市議会委員会条例の一部を改正する条例の制定について	原案可決
	介護事業所に対する支援等を求める意見書について	原案可決
	イランをめぐる軍事行動の即時停止と外交による平和解決を求める決議について	原案可決

※P4に全文掲載

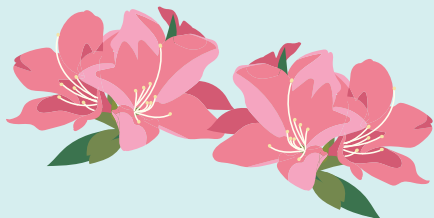
人事案件

公平委員会委員

令和8年6月22日付けをもって任期満了となる藤本 寿子^{ふじもと ひさこ}氏を適任と認め、引き続き選任することに同意しました。

四條畷市農業委員会委員

令和8年7月19日付けをもって任期満了となる
林 秀一^{はやし ひでかず}氏、土井 一憲^{どい かずのり}氏、西川 一也^{にしかわ かずや}氏、
小林 克重^{こばやし かつしげ}氏、西尾 秀文^{にしお ひでふみ}氏、岡嶋 祐之^{おかじま ひろゆき}氏、
南野 靖博^{みなみの やすひろ}氏を適任と認め、引き続き任命することに同意しました。



令和8年7月19日付けをもって任期満了となる
田中 邦明^{たなか くにあき}氏の後任者として南畑 猛志^{みなみばた たけし}氏を、
丸石 正^{まるいし ただし}氏の後任者として北河 耕治^{きたがわ こうじ}氏を、
村上 治^{むらかみ おさむ}氏の後任者として八上 博孝^{やかみ ひろたか}氏を、
中西 久雄^{なかにし ひさお}氏の後任者として西川 徹^{にしかわ とおる}氏を、
久門 廣美^{ひさしもん ひろみ}氏の後任者として吉田 宏^{よしだ ひろむ}氏を、
片下 周司^{かたした しゅうじ}氏の後任者として上田 育代^{うえだ いくよ}氏を、
北田 澄子^{きただ すみこ}氏の後任者として若松 聖子^{わかまつ たかこ}氏を、
適任と認め、任命することに同意しました。

決議書

イランをめぐる軍事行動の即時停止と外交による平和解決を求める決議

四條畷市議会は、米国およびイスラエルによるイランへの軍事攻撃と、それに対するイランの報復攻撃に、深い憂慮を表明します。

中東地域における軍事衝突の激化は、世界の平和と安定を脅かすだけでなく、エネルギー供給の物価高騰などを通じて日本国民および本市市民の生活に重大な影響を及ぼしつつあり、攻撃が長期化すれば、医療物資や薬、食糧まで不足する事態も想定されます。

今こそ求められるのは、軍事力ではなく、対話と外交による平和的解決です。

四條畷市は、あらゆる国の戦争と核兵器の廃絶を求め、戦争のない平和な社会を築くことを念願して「非核平和都市」を宣言しており、市議会として、おびただしい犠牲を、これ以上容認できません。また、このたびの双方の攻撃により多数の死者が出ており罪のない子どもを含む多くの市民が犠牲になっております。

米国とイスラエル、およびイランは、直ちに全ての軍事行動を停止すること、日本政府は、即時停戦と対話再開に向けた積極的な外交を求めます。

以上、決議します。

委員会報告

予算決算常任委員会

7年12月1日(12月定例議会)の本会議で動議が提出され、再付託となり、継続審査となった、令和6年度四條畷市一般会計歳入歳出決算の認定について、監査委員より監査結果報告書の提出を受け、監査結果を踏まえて、2月10日に改めて審査を行いました。

質疑や、要望意見があり、2件の反対討論、3件の賛成討論がありました。

その後、採決を行った結果、可否同数となったため、委員会条例第17条第1項の規定により委員長の決することとなり、委員会として認定することに決しました。



詳細はこちら

総務建設常任委員会

2月24日(3月定例議会)の本会議で付託された、第6次四條畷市総合計画の改訂について3月6日に審査しました。

(付託された委員会で審査した内容の一部を抜粋しています)

問新型コロナウイルス感染症や技術革新、国際情勢の悪化などにより社会情勢や生活様式が大きく変化している。審議会でも意見が割れ、市民からも改定を求める声がある中で、なぜ今、基本構想を変更しないという結論に至ったのか。

答基本構想はまちの将来像や基本的な方向性を示すものであり、現状において不具合の有無や有効性を検討した結果、現時点においても有効かつ妥当であると判断したためである。

その後、1件の反対討論の後、採決を行い委員会として原案のとおり可決しました。

予算決算常任委員会

2月24日(3月定例議会)の本会議で付託された、令和7年度四條畷市一般会計補正予算(第10号)について、3月10日に審査しました。

(付託された委員会で審査した内容の一部を抜粋しています)

問物価高対応子育て応援手当支給事業繰越明許費が増額されているが、対象児童が増加したためか。

答対象児童が増加したわけではなく、当初想定していた対象者の中で、申請手続きの遅れ等により支給が翌年度にずれ込むケースが増える見込みとなったため、繰越額を修正したものである。

その後、1件の反対討論の後、採決を行い委員会として原案のとおり可決しました。

2月24日(3月定例議会)の本会議で付託された、令和7年度四條畷市下水道事業会計補正予算(第3号)について、3月10日に審査しました。

(付託された委員会で審査した内容の一部を抜粋しています)

問下水道管への不明水流入による道路陥没等を防ぐため、管路の重点調査の結果と今後の調査方針は。

答調査結果は国が集計中であり、国の公表に合わせて本市も公表する。今後は国の提言を踏まえ、レーダー探査等による管路の構造的診断や空洞調査などに継続して対応していく。

その後、採決を行い委員会として原案のとおり可決しました。

委員会報告

予算決算常任委員会

3月5日(3月定例議会)の本会議で付託された、令和8年度四條畷市一般会計予算及び令和8年度四條畷市下水道事業会計予算について、3月11日から13日の3日間にわたり審査しました。

令和8年度 四條畷市一般会計予算

(付託された委員会で審査した内容の一部を抜粋しています)

詳細はこちら



3/11



3/12



3/13

地域コミュニティ推進事務

- 問 地区補助金の公益性の担保と、自治会の法的リスク回避に向けた市の対応は。
- 答 補助金が適正に使われるよう市が審査・確認を行うとともに、自治会に法的リスクが生じないよう、適正な用途等について市から各自治会へしっかりと説明を行う。

介護保険事務

- 問 第10期介護保険事業計画策定に向けた国への要望、市独自の人材支援、意見聴取の考え方は。
- 答 負担増等は国へ要望し、市独自の支援は難しいが、引き続き事業者の声を聞きながら対応する。意見聴取はアンケートやパブコメを活用していく。

公園維持管理事務

- 問 公園での夜間の迷惑行為や器物損壊に対し、市はどのような対策を講じるのか。
- 答 来年度に高性能な防犯カメラを設置するほか、地域住民と協議の上、公園の夜間閉鎖の導入を検討する。

(修正案:森本議員から提出) 修正案について質疑答弁があり、その後修正案、原案一括して討論が行われ、原案に反対するとの内容で3件の反対討論、修正案に賛成するとの内容で1件の賛成討論、反対するとの内容で2件の反対討論がありました。その後、採決を行った結果、修正案も原案も否決となりました。

森本議員から提出された修正案の全文はこちら



令和8年度 四條畷市下水道事業会計予算

(付託された委員会で審査した内容の一部を抜粋しています)

- 問 下水道使用料の値上げについての見解は。
- 答 収支目標を現状では下回る見込みのため、8年度に再度シミュレーションを行い、今後の対応を見定める。質疑や要望意見があり、1件の賛成討論の後、採決を行い委員会として原案のとおり可決しました。

意見書

地方公共団体の議会は、地方自治法第99条の規定に基づき、国会又は関係行政庁に対して意見書を提出しています

介護事業所に対する支援等を求める意見書

意見書の内容はこちら



代表質問

令和 8 年 3 月定例議会
令和 8 年度市政運営方針に対する代表質問

質問 順位	会派名 質問者	質問事項	質問 順位	会派名 質問者	質問事項
1	市議会公明党 若松 正治 議員	1 習い事支援の開始について	2	なわて葵風会 吉田 裕彦 議員	11 教育フェスについて
		2 通学路等の防犯カメラ設置について			12 くすの木公園について
		3 忍ヶ丘駅前西広場を活用した社会実験について			13 本市の消防団員確保とあり方について
		4 四条畷駅周辺の商店街の活性化について			14 地域コミュニティの要となる自治会について
		5 重層的支援体制の取り組みについて			15 シティプロモーションの推進について
		6 シェアサイクルについて			16 市役所改革について
		7 ふれあい教室の民間委託について			17 市政運営にのぞむ決意について
		8 旧四條畷南中学校敷地について	3	大阪維新の会 四條畷市議会 議員団 柳生 駿祐 議員	1 総論
		9 市民総合センター等敷地について			2 財政論
		10 学校敷地樹木管理計画について			3 重要施策
		11 学校給食完全無償化について			4 主要施策
		12 くすの木公園について			5 各種計画等
		13 アピアランスケア事業について	4	畷ビジョンの会 長畑 浩則 議員	1 一般国道旧170号の拡幅について
		14 誘導サインについて			2 JR忍ヶ丘駅周辺整備について
		15 市役所改革について			3 国道163号沿道における産業誘致の件について
		16 庁舎トイレについて			4 公共施設の再編について
2	なわて葵風会 吉田 裕彦 議員	1 市長が取り組まれた対話会について			5 学校給食について
		2 本市を取り巻く状況について			6 公園整備について
		3 いくつになっても活動したくなる"なわて"について			7 今後の自治会運営について
		4 働く世代が元気あふれる"なわて"について			8 文化財グッズの開発について
		5 子どもが夢や目標を持てる"なわて"について			9 市役所本館のトイレについて
		6 人とまちと自然がつながる"なわて"について	5	会派に属さない 議員 岸田 敦子 議員	1 対話によるまちづくり
		7 いのちと生活を守る"なわて"について			2 市民のいのち・暮らしを守る施策
		8 子育て世代が笑顔で過ごせる"なわて"			3 公共施設の再編
		9 田原の活性化について			4 行財政運営について
		10 税収の確保にむけて			5 憲法に対する見解

市政運営方針に対する代表質問のあらまし

2月24日の市長の市政運営方針に対し3月5日に会派等から代表質問が行われました。(すべての代表質問項目は上記のとおり)



市議会公明党
若松 正治 議員



習い事支援の開始について

問子どもたちの夢の実現の一步となるすばらしい施策であると思う。対象はどのような習い事であるか、また助成額の設定を伺う。

答就学援助世帯の中学生を対象に、学習塾をはじめスポーツ、文化芸術活動などの習い事を想定しており、助成額は月額上限5000円としている。

問諦めていた、我慢していたなど、家庭状況に左右されず挑戦ができる習い事支援により、オリンピックをめざすような選手が誕生するなど、夢のある施策だと思うので、よろしくお願ひしたい。

市民総合センター等敷地について

問議会質問にて取り上げてきた要望に対して自習室はどのように検討しているのか。

答自習室は他の会議室等と離れた場所に設置して静穏性を保ちつつ、電源やWi-Fi設備等を設ける予定である。

学校給食完全無償化について

問市議会公明党として長年取り組んできた課題であった。議会質問や毎年の予算要望で何度も訴え続け、悲願であった公立小中学校の学校給食費の完全無償化が実現することに心から感謝を申し上げる。懸念するのはその持続性である。中学生分の今後の予算確保についてどのように考えているか。

答本市が独自に実施している小中学生の第2子以降の無償化及び物価高騰対策に要した費用とほぼ同額の額を中学生の給食費に充てることで、市内小中学生の給食費の完全無償化を実現していく。

問本市の給食費月額が4990円になっております。支援支給額5200円が上回るの、その分を質の向上や、アレルギーなどの事情で給食を利用していない児童に対する支援につなげてもらうよう検討を願う。

アピアランスケア事業について

問がん治療に伴う外見の変化により、不安や悩みを抱える方の支援となるウィッグや乳房補正具の購入に要する費用の一部助成について何度も訴え、ようやく実現。助成費用の設定について問う。

答がん患者の方々の経済的負担の軽減と療養生活の質の向上を図るため、ウィッグ及び乳房補正具の購入費用について、それぞれ2万円を上限に助成。



なわて葵風会
吉田 裕彦 議員



市長が取り組まれた対話会について

問市民の暮らしの実感と対話会の実績については。

答市全体を俯瞰しながらも、市民一人ひとりの暮らしに寄り添い、日常の中で交わす一つひとつの言葉を原動力に施策を進める姿勢と考えている。対話会は、昨年10月に教育をテーマに各中学校区で3回開催し、参加者40人より、「いろいろな意見を聞いて良かった」等の声があった。その後、21回にわたり自治会役員を中心とした173人の人たちと懇談を行い、自治会の状況、道路、河川、公共交通、公園、空き家・空地などの地域課題を伺った。

本市を取り巻く状況について

問本市が持続可能であり続けるための道筋は。

答税源の涵養と先輩世代の活躍を後押しする環境の整備は、基軸として、ふるさと納税や公民連携による財源の確保、地域コミュニティの持続性の確保、選択と集中による重点配分、多様な主体との協働など、複合的な取組みを総合的に推進することで、持続可能な市政運営を実現していく。

いくつになっても活動したくなる“なわて”について

問8年4月の機構改革の趣旨を踏まえ、社会参加を通じた地域の活性化を推進する具体的な事業は。

答健康プログラム事業は、生涯学習や生きがいづくりの要素を加えるべく、新たに歩こう会やスポーツフェスティバルなどのスポーツイベントを加えることを予定している。また、地域の人たちが集う居場所への参加や、ボランティア活動にもポイント付与をしていくなど、地域の交流や担い手不足解消の一助となる仕組みを検討する。図書館は、学校との連携はもとより、様々な子どもを対象とした事業を行い、他部署が行うイベントなどで関連した本を集めたコーナーを設置するなど、市民へのPRに資する取組みを更に広く深めていく。

人とまちと自然がつながる“なわて”について

問JR忍ヶ丘駅前の賑わい創出につながる整備は。

答私が想像するJR忍ヶ丘駅前の将来像は、多くの市民や民間事業者が駅前に集い、賑わいが創出される空間である。具体的には、市民が日常的に気軽に立ち寄り、憩い、交流できる駅前空間となり、地域が主体となって、マルシェやイベントなど多様な催しを展開する、活気ある駅前空間を実現したいと考える。そのため、8年度の社会実験の検証結果を踏まえ、9年度から段階的に市民が活動しやすくなる空間整備に向けた取り組みを進め、10年度には市民が変化を実感できる空間の創出をめざす。

市役所改革について

問8年6月より実施される窓口受付時間の短縮に係る市民への説明の方法や回数、反応の報告について。

答9月定例議会での意見を踏まえ、11月に、自治会長への説明、状況とその他の周知方法、今後の周知予定及び寄せられた意見や質問の内容について情報提供しており、その後の変化はない。

市政運営にのぞむ決意について

問任期3年間のまちづくりにのぞむ決意は。

答私が大切にしているのは、市民の暮らしの実感を起点に、対話を重ねながら市政運営を前へ進めていくことである。山積する課題に対し、急ぎ過ぎることなく、かつ、立ち止まることなく、丁寧な説明と合意形成に努め、着実に施策を進めていく。そして、親・子・孫の三世代が希望を持って暮らせるまちへと歩みを進め、市民からの信頼と期待に応えるべく、責任と覚悟を持って全身全霊を尽くし、職責を全うする決意である。



大阪維新の会 四條畷市議会議員団

柳生 駿祐 議員



総論

問理念の達成度について、一部は成果が出ているが、道路や施設再編などは数値化できていない。これでは市民の実感や評価を把握できないのでは。

答意見箱、対話会やアンケートなどを通じて、市民の声を体系的に集約する仕組みを構築している。

問市長は最近どう？とよく聞かれる。期待の表れと対話の浸透度が低い状況の両面あるが、どうか。

答議員がお示しの観点も含めて努めていく。

問市政の前進が伝わっていないことは問題。我々も議員の役割として、是々非々で指摘をしていく。

問選択と集中について、何を基準に優先順位を決めているのか見えない。判断軸を明確にすべきでは。

答市民ニーズや財源、人員状況などを多面的に勘案し決定するため、明確な基準を示すのは難しい。

問どこに資源を集中するのか、財政的な将来見通しを持って舵取りをしてほしい。

問職員の離職について、自己都合退職が21名、多くが30～40代の中堅層。重大な問題だが対策は。

答人材流動化の影響もあるが、人材育成とやりがいのある職場環境の整備を推進する。

問まちのために共に頑張る職員へ明確な目標でリーダーシップを発揮してほしい。エールを送る。

財政論

問財政について、物価高騰で歳出が増加するなか悠長にしている余裕はない。財源の涵養とは、ゆっくり育てることか。

答重要視している経常収入財源を育てていくという観点を込めて、税源の涵養という言葉を使った。

問ふるさと納税等の目標は約7600万円、2月末で約1650万円、この1年間で10%増程度。この状況で期末手当を満額受け取るのは正直どうなのか。

答その点では成果が見えていないのは実情。ふるさと納税だけではなく、歳入構造をより好転させるような取り組みを着実にやる。

問突破口となる、企業マッチング支援に係る提案をしてきた。前向きに全力でやってほしい。

重要施策

問公共施設再編について、費用未計上の施設もあり、財政見通しが不十分のまま進んでいる。将来世代への負担増にならないと断言できるのか。

答社会情勢の変化もあり正確な見通しは困難だが、有利な起債等を活用し、先送りしない姿勢で臨む。

問見通しが難しい中で大型投資は理解が得られない。余裕のある見通しで、持続可能な財政運営を。

問道路の安全対策は、雪だるま式に過年度、実施予定だった工事が進んでいない。実施する判断は。

答限られた予算の中で各種事業を行う必要がある。議員指摘の観点も持ち、道路行政を注視する。

主要施策

問待機・保留児童対策について、今後の更なる投資に

ついでに考えは。

☑効果検証を行う中で、民間園の意見等を踏まえ、必要な支援の在り方について検討を進めていく。

☑現場の弾力運用が常態化しており、続くと労働環境悪化、離職につながる。時限的な求人に対する応援を併せて検討してほしい。

☑給食費無償化について、小・中学校での早期実現に感謝。一方、給食時間が短いとの声が上がっている。子どもたちの声を聞いて欲しいが、どうか。

☑学校毎に決めており、教育委員会に決定権はないが、校長会で工夫や検討するよう指示した。

☑これこそ学校運営協議会で議論すべきでは。

☑地域の方々のご意見を伺いながら、一緒に考えていく姿勢が大切と考える。

☑代表質問は、財政見通し、市長公約の進捗を重視した。是々非々で指摘したので着実な対応を望む。



畷ビジョンの会
長畑 浩則 議員



一般国道170号の拡幅について

☑道路が整備するまでにはまだ数年ある。側溝に蓋が無いことで重大な事故が発生する前に、市として安全対策を検討しているのか。

☑府に対して安全対策の実施を要望しており、8年1月に府と現地立会いを行い、安全対策工事の早期実施に向け、側溝の暗渠化などの工事内容や範囲について、具体的に協議を行ったところである。

JR忍ヶ丘駅周辺整備について

☑実現に至るまでのタイムスケジュールは。

☑8年度の社会実験における検証結果を踏まえ、9年度から段階的に市民が活動しやすくなる空間整備に向けた取り組みを進め、10年度には市民の皆さまが変化を実感できる空間の創出をめざす。

☑私が以前から提案しているJR忍ヶ丘駅前西側ロータリーの芝生広場化には、なお至らない内容ではあるが、駅前空間の活用が一步前に進むものとして評価する。今後さらなる充実が図られることを期待し、10年度の実現を要望する。

公園整備について

☑市政運営方針で、「西部地域の北西部には都市公園がなく、公園整備を求める多くの声をいただいて

いることから、整備に向けた具体の検討を進めてまいります。」と示された。昨年も本件を取り上げた際、市長からは「区域内の生産緑地の活用も視野に入れつつ、引き続き、新池の活用に向けた関係者との協議を進めてまいります。」との答弁があった。そこで質問、7年度における具体的な取り組み状況はどうであったのか。あわせて、8年度以降、本件をどのようなスケジュール感と手法で進めていく考えか。

☑7年度は、新池を公園として利用するため、農業用水としての必要性や将来の維持管理などについて協議を重ねており、8年度も引き続き、協議を継続していく予定としている。また、生産緑地については、公園整備に理解を示す土地所有者がいたことから、8年度に測量などを実施し、買収に向けた手続きを進める予定としている。

☑新池については、今回も協議継続との答弁を残念に感じている。一方で、公園整備にご理解を示す土地所有者がいることは、前向きな材料であると受け止めている。この機を逃すことなく、整備実現に向け速やかに進めてもらうよう要望する。



会派に属さない議員
岸田 敦子 議員



対話によるまちづくり

☑公共施設の再編は、今からでも市長自らが説明する場を設け、市民と直接対話すべきではないか。

☑公共施設の再編は、本市の整備方針を理解してもらいたく、各種広報媒体を生かした周知を継続的にを行い、広く市民理解を仰いでいるところである。

☑直接対話をしないまま進めるのは、「みんなで描こう なわての未来」や対話によるまちづくりという市長の公約に反するのではないか。

☑この事業を着実に進めて持続可能な未来を実現することが市民の皆様への責任と考えている。

市民のいのち・暮らしを守る施策

☑先の総選挙では、当選した衆議院議員の96%が消費税減税を政策に掲げた。直ちに実行してもらうため、地方からも声を上げていくべきではないか。

☑消費税減税は、国の財政や社会保障全般に深く関わる内容であり、国において慎重に議論されるべき。市としては、国からの交付金等の活用で、実情に応じた物価高騰対策の実施に全力を尽くしていく。

一般質問

令和8年3月定例議会

1.大原 芳剛 議員

- パブリックコメント制度の改善について
- 小中学校における学力向上と教育行政の責任について
- 持続可能な自治会であるためには

2.坂本 勇基 議員

- いじめ予防の実効性を高めるための、いじめに関与した児童生徒への行動改善支援について
- 週替わり担任制を総括してください
- リサイクル資源の回収で得られる地域・地区の財産を守るために何ができるか

3.若松 正治 議員

- DX推進と窓口業務について
- 交通安全と通学路安全対策について

4.柳生 駿祐 議員

- 一般国道旧170号拡幅事業とその後
- 2040年に向けた基礎自治機能の充実
- 空家等対策の現状と今後の見通し

5.森本 勉 議員

- 四條畷神社のトイレ改修について
- くすの木公園の安全管理と夜間閉鎖について
- 観光施策について
- おでかけサポートタクシー事業について

6.岸田 敦子 議員

- 公共施設の再編
- 子どもと教育・文化を守る施策
- 若年がん患者の在宅療養支援
- 自転車の青切符制度の周知と命を守る対策

7.吉田 涼子 議員

- アピアランスケアの助成について
- 健康アプリ「なわぼ」を活用した取り組みについて
- 防災について

8.島 弘一 議員

- 田原地域の人口動態について
- 田原コネクトカート(TCC)について
- 本市の各施設再編の最新状況について
- 保育所や、こども園の待機児について

9.長畑 浩則 議員

- JR忍ヶ丘駅前二丁目調査結果に対する本市の考え方について
- 猛暑対策の強化について
- 市民総合センター&こども園の複合施設整備について
- 交野支援学校四條畷校の前面道路の拡幅について

10.吉田 裕彦 議員

- 働き方改革と職員の適正配置について
- 西部地区の北西部における都市公園等について



3月23、24日に、10人の議員が行いました。青色の項目はその概要を掲載しています。



パブリックコメントの制度の改善について

- 問意見が全くなかった場合の受け止めに伺う。
- 答大きな懸念等が寄せられなかった事実を踏まえ、その後の手続を進めるが、意見ゼロという結果は残念であったと受け止めている。
- 問制度を実施していることがわかりづらい。周知方法の改善点などはあるか。
- 答市民や関係者に対し十分な情報を提供することが必要。広く意見聴取につながるよう市公式 SNS 等を活用したさらなる情報発信が必要と考えている。

小中学校における学力向上と教育行政の責任について

- 問本市の学力の現状を教育委員会としてどのように認識しているのか伺う。
- 答全国学力・学習状況調査の結果では、本市の平均正答率は全国をやや下回る状況であり、基礎的な問題でつまづいている子どもが少なくない状況である。
- 問この現状に対する課題点は把握しているか。
- 答家庭学習時間30分未満の児童生徒の割合が、全国や府と比較して高い状況であり、さらには増加傾向にあることが課題だと認識している。
- 問課題に対する具体的な取り組みは。
- 答宿題の工夫や自主的な学習の推進、ICT機器を使用した家庭学習の指示、学習ノートの提示、保護者への啓発などが挙げられる。
- 問家庭学習時間の低下は非常に重要な課題である。市長部局、教育委員会、学校、家庭がそれぞれの役割を果たしながら、学力向上に取り組む必要がある。今まで以上に情報共有・連携を図ってほしい。



いじめ予防の実効性を高めるための、いじめに関与した児童生徒への行動改善支援について

- 問いじめの加害児童生徒への行動改善支援が必要と考える。行動改善支援の必要性の認識を伺う。
- 答いじめの再発防止は加害児童生徒の行動改善が不可欠と認識し、校内いじめ対策委員会で継続的に支

援する必要がある。

- 問いじめ事案に対し、現行の指導と検証の課題をどう認識しているのか伺う。
- 答いじめ解消率による評価だけでは十分でないと認識し、行動変容の定着も踏まえた検証が必要である。
- 問いじめ事案に対し、関係外部機関との連携と制度化に向けた課題はあるか伺う。
- 答いじめの加害児童生徒の保護者の同意が得られない場合、支援が限定される点を課題と認識し、関係機関と連携した支援の在り方を見直す必要がある。
- 問いじめ加害児童生徒の行動改善プログラムの制度化が必要と考えるが、制度化に向けた認識を伺う。
- 答制度化の必要性を認識し、学校いじめ基本方針の見直しを進め、被害児童生徒の安全確保に努める。



DX推進と窓口業務について

- 問市民が最も市役所を実感する窓口がよりよくなるように、書かない窓口の取り組み、進捗状況を伺う。
- 答本市では市民課に書かない窓口を導入し、マイナンバーカードや運転免許証等の本人確認書類を読み取り、申請書類に住所、氏名、生年月日などを印字することで市民負担の軽減に取り組んでいる。
- 問ご遺族は深い悲しみの中にありながら、多岐にわたる複雑な手続に追われる。窓口対応はどうか。
- 答死亡届の提出時に、死亡届提出に伴う手続の案内を渡し、それぞれの手続に応じて適切な担当部署へ案内をしている。
- 問おくやみ窓口設置までの間、おくやみ手続ナビの設置を強く要望しておく。
- 答市民サービスの向上につながるような取り組みを進めていきたいというふうに考えている。

交通安全と通学路安全対策について

- 問自転車用ヘルメット購入費補助を実施すべきと考えるが、見解は。
- 答ヘルメットの購入費補助制度の創設に向けて、一定の検討は必要であると認識している。
- 問横断歩道が設置できない状況、また道路を横断し登校している。カラー塗装や物理的デバイス、ゾーン30プラスなど対応できないか。
- 答カラー舗装は市道であれば警察と協議し整備でき

るが、ゾーン30プラスは地域の一定の合意が前提で、関係者による会議体を設け整備計画の策定となるため、市独自で判断できない。



大阪維新の会 四條畷市議会議員団

柳生 駿祐 議員



一般国道旧170号拡幅事業とその後

問旧170号拡幅1期事業は、10年に事業完了の見込み。2期事業はどこまで協議状況は。

答未確定だが、雁屋畑線との結節点を終点とする案で引き続き事業化に向けて要望・協議を予定。

問雁屋畑線はいつ着手か、実現に向けた見解は。

答国道163号以南は東西幹線道路が十分に整備されていない状況。安全・安心の向上の観点から、整備は必要。今後は業務棚卸しを踏まえ、財政状況を十分に考慮しながら、検討する。

問途切れることなく、しっかり進めてほしい。

2040年に向けた基礎自治機能の充実

問自治体運営は現状、待ったなしの状況。将来の行政体制を検討する場が必要だが、設ける考えは。

答新設しないが、部長級以上の運営者会議を活用。

問府は各地域の協議会等の支援を行う意向。本市は細かい分析ができず乗り遅れないか不安。行政機能の維持・強化のため、将来を考えて動いてほしい。

空家等対策の現状と今後の見通し

問管理不全空家等の区分新設により、新たに取り組む内容は。

答指導・勧告ができ、勧告後は固定資産税等の住宅用地特例の対象から除外され、早期対応を強く促せる。

問行政で対応すると代執行等のコストがかかり、マンパワー不足も課題。空家の把握、流通まで民間主体の取り組み促進を後押ししてほしいが、どうか。

答重要と認識。多様な課題にワンストップでの対応が理想。空家バンクの創設を調査研究していく。



なわて葵風会

森本 勉 議員



四條畷神社のトイレ改修について

問トイレ改修の実施設計予算を初めてつけてもらい

銭谷市長に最大の敬意を表し感謝する。私は15年間ほとんどの議会でこの問題を取り上げてきた。私が提供した大東市と楠公寺が行ったトイレ改修の協定書は特に宗教施設との関連で役に立ったか。

答今後四條畷神社との間で協定を結ぶことになるが、いろんな決め事をする際に非情に参考になると思う。

問建屋も建替える認識で間違いはないか。

答今あるものをいったん潰して新築する形は可能だ。

問市民が望む温水便座を仕様書に入れてくれるのか。

答他市の観光名所や高速道路のトイレも大概ついているので、その同等のものと考えている。

問いたずら対策に夜間閉鎖を神社が求めている。管理は神社にお願いするのか。

答まだ話はできていないが、その心配は引き継ぐ。

問今春に第16回楠公まつりの復活をめざして楠公まつり祭囃子保存会によるイベントが市の協力事業として行われる。来年3月に楠公まつりが復活するので、それまでに何とか改修して欲しい。

答いろんな手続きがあり8年度中の完成は難しい。

その他、公園の迷惑行為について夜間閉鎖をすべき、公園条例を改正し罰則を含む禁止規定を設けるべき、幼児が遊ぶ人工芝へのペットの連れ込みを禁止すべき、観光について本市ゆかりの歴史遺産をテーマとした映画ドラマ化を目指すシナリオの公募をするコンソーシアムの設立、おでかけサポートタクシーに介助人の無料乗車を求める等々の質疑をした。



会派に属さない議員

岸田 敦子 議員



公共施設の再編

問将来ニーズの比較、改修と建て替えのライフサイクルコストは比較検討したか。

答個別施設計画において、幾つかの前提条件の下、既存施設を維持、そして計画に基づく再編、双方の将来更新費用を比較し、目標設定を行った。

問都市再生整備計画等を作ったの比較はどうか。

答都市再生整備計画等を使うに際しては、早期の方針転換が求められるなか、いとまがなかった。

問市民は様々な機関に問合せ、調査した材料を市担当部に提起した。市は、大阪府とのやり取りも、府派遣の職員とのやり取りもできた。いとまがないは理由にならない。そういうところも納得できない。

財政収支見通しが示された。かなり厳しい内容に現計画の「何らかの」見直しが必要と感じている。このまま進めることで、財政が悪化して、職員への影響や他の施策への影響は考えていないのか。

答事業債が存続しなければ非常に厳しいが、特に大型建設事業はできるところは精査し、財政運営が立ち行かなくならないようコントロールしていきたい。

問今の段階で、主要な3施設に200億円近くかかる試算。何らかの形で大幅な見直しをと言いつける。

子どもと教育・文化を守る施策

問集中力、忍耐力、やり遂げる力とデジタル依存との関係性は大きいと思うが、教育委員会の認識は。

答デジタル技術を使いこなす力も必要だが、依存し過ぎると生活習慣の悪化や思考・判断力の低下の可能性はあると認識している。



市議会公明党
吉田 涼子 議員



アピランスケアの助成について

問これまで何度も当事者の声を聞き、訴えてきたが患者の外見ケアの助成がようやく実現。ウィッグや乳房補整具の助成額はそれぞれ2万円であるが、実施時期について、申請はいつからスタートするのか。

答8年4月1日以降のウィッグ及び乳房補整具の購入費用について助成を行い、8年6月から申請の受け付けを開始する予定。

問申請方法について、枚方市では、書類を窓口へ持参や郵送の対応に加え、WEBフォームによる申請を行っている。本市でも検討してもらいたいが。

答持参または郵送だが、Logoフォームを活用した電子申請についても検討していきたい。

問脱毛症も対象として検討してもらいたいが。

答調査研究をしていきたい。

防災について

問災害時のペットの避難について、現在の本市の対策は。

答避難所までの同行避難は可能であるがペットと同室での避難については、動物等に起因とするアレルギーなど、他の避難者への配慮から受け付けていない。ただし、同行されたペットについては、市内小中

学校ごとに作成している避難所利用計画の中で、グラウンド等に一定の場所を設け、災害時におけるペットの居場所を確保することを想定している。



畷ビジョンの会
島 弘一 議員



本市の各施設再編の最新状況について

問現在の総合センター等敷地及び南中跡地整備の進捗状況を伺う。

答旧南中学校敷地は、安心・安全、多世代交流、健康増進を意識のうえ、全体の基本設計を進めている。現状、五つの旧耐震施設早期解消を果たすコミュニティ複合施設、並びに地域防災の拠点、スポーツ振興を担う多機能型体育館は階層配置をまとめ、にぎわい創出に寄与する公園は三つの特色を持つエリアを設定した。次に、市民総合センター等敷地は、こども園との複合化決定の下、年度内の基本計画策定をめざし、構成施設と階層の配置を記すモデルプランを図案化したところである。

田原コネクトカート(TCC)について

問現在の自動運転の進捗状況を伺う。

答地域内移動の課題解消を目的に、2年度からさまざまな取り組みを重ね、6年5月からグリーンホール田原と田原台センターの地域拠点間を結ぶ循環ルートで、自動運転レベル2での走行を実装している。また、将来の自動運転レベル4実装をめざすべく、レベル4の許認可に向けた課題の抽出に加え、安全で快適な運行の実現に向け、6年度から種々の実証実験を実施している。

他に「田原地域の人口動態について」「保育所や、こども園の待機児について」の2点を質問した。



畷ビジョンの会
長畑 浩則 議員



交野支援学校四條畷校の前面道路の拡幅について

問平成28年3月議会の一般質問で、私は交野支援学校四條畷校の前面道路について「歩道と車道の拡幅をどうかしていただけないか」と要望。その時の答弁が「歩道並びに車道等の拡幅につきましては今後

の検討課題とさせていただきたい]であった。

私がこの問題を指摘してから10年。この間どのような具体的検討を行ってきたのか。また、府に対してどのような働きかけを行ってきたのか、経過を伺う。

答5年度に小学部の新設を含む本校化が決定し、11年度のリニューアルオープンに向けて、大規模改修計画が進んでいる。

本市としても、現地の状況や過去からの提案も含め、地域の思いをくんでもらえるよう、府教育庁に対し6年8月及び12月に働きかけを行った結果、砂地車庫付近の学校敷地の一部を任意後退すると示され、現在、任意後退部分の道路整備に向けて、府教育庁と定期的に情報交換しているところである。

問10年前の私の一般質問も含め、これまでの積み重ねが無駄ではなかった。砂自治会、砂地区まちづくり協議会の皆さんにもご尽力をいただいていると伺っている。

引き続き、府との連携を図りながら、確実に整備へと繋げてもらうことを要望する。



なわて葵風会
吉田 裕彦 議員



働き方改革と職員の適正配置について

問現在の職員の年齢別人数について

答3月1日現在、任期付き職員を含む、10代が1人、20代が41人、30代が141人、40代が82人、50代が76人、60代が27人で職員数合計は、368人。

問30・40代の職員が全体の3分の2を占める。3月末に自己都合で退職する21人の内、30・40代が16名で、他自治体への転職が多い。働き世代の中でこの世代は非常に重要だと認識している。

問職場環境づくりについて

答職員が安心して働ける環境を確保するため、長時間労働の是正や柔軟な働き方の実現に向け、業務の効率化や適正な勤務時間管理に努めており、職員間のコミュニケーションの活性化については、上司と部下との対話の機会を設けるとともに、風通しのよい組織風土の醸成に取り組んでいる。

西部地区の北西部における都市公園等について

問公園整備の具体について。

答西部地区北西部においては、一定規模の公園用地に転用できる公共用地がないため、新池や生産緑地の活用も視野に検討を進めている。

問生産緑地の活用の具体と今後の工程について。

答8年度、測量及び鑑定評価を実施する。その結果を基に地権者との交渉を進めて行く予定。

順調に交渉が進んだ場合、9年度までに用地取得完了、10年度には用地の管理工事を実施、11年度には暫定的な市民利用の開始となる。

令和7年度 政務活動費 収支報告書等の公開

本市議会では、政務活動費の収支報告への領収書等の写しの添付を義務付けし、政務活動費の支出に係る責任の所在を明確にするとともに、透明性の確保を図ることとしています。

令和8年1月30日付けで、大阪府議会議員補欠選挙へ立候補されたことに伴い、市議会議員の職は失職となりました、土井一慶議員の令和7年度(令和7年4月から令和8年1月まで)の政務活動費収支報告書及び領収書等の写しを、情報公開コーナー(市役所本館2階)で公開しています。また市議会ホームページにも掲載しています。



詳細はこちら

市議会では本会議及び委員会等における服装の通年輕装化(スマートカジュアル)を導入します

本取り組みは、議会の品位を損なわない範囲での「スマートカジュアル」を推奨し、より効率的で時代に即した議会運営をめざすものです。

詳細はこちら



虚礼の廃止・寄附の禁止にご理解を！

本市議会では、本市議会議員及び後援団体の活動において、公職選挙法の規定を遵守するとともに、虚礼の廃止と寄附の禁止に関する要綱を定めていますので、市民の皆さんのご理解をお願いします。

虚礼の廃止



- 年賀状、暑中見舞状、就退任状、慶弔電報、メッセージ等の送付
- 名刺広告、協賛広告などへの掲載は禁止されています。

寄附の禁止



- 中元、歳暮の贈答品
- 慶事に対する祝金、花、酒食等
- 弔事に対する香典、楡、供花、供物等
- 就退任に対する祝金、饂飩等
- 各種行事に対する寸志、粗品等の提供は禁止されています。

今後の定例議会の予定

四條畷市議会は通年会期制をとっているため、予定されている日程以外にも臨時で議会を開催することがあります

日	月	火	水	木	金	土
5/17	18 本会議(5月初日) 議案審議	19	20	21	22	23
5/24	25	26	27	28	29	30
5/31	6/1 本会議(6月初日) 議案審議	2 総務建設常任委員会 付託議案の審査	3 教育福祉常任委員会 付託議案の審査	4 予算決算常任委員会 付託議案の審査	5	6
6/7	8	9	10	11	12	13
6/14	15	16 本会議(6月2日目) 付託議案の採決・ 一般質問	17 本会議(6月最終日) 一般質問	18	19	20

時間：原則午前10時から

場所：本会議 議場(市役所本館3階)

委員会 委員会室(市役所本館3階)

日程は変更される場合がありますので、

詳しくは議会事務局までお問い合わせください。

☎072-877-2121(代表)

☎0743-71-0330(代表)(内線222)



本年度の
会議の日程

市のホームページで議会のようすがご覧になれます

詳細は、お手持ちのパソコン・スマートフォンから市ホームページの「四條畷市議会」のコーナーをご参照ください。



こちらを
チェック！

<https://www.city.shijonawate.lg.jp/site/shigikai/>

四條畷市議会

検索

インターネット中継



議会の模様をライブ配信(生中継)しています。誌面では味わえない、議場の雰囲気を実験してみましょう。

録画配信



定例議会・臨時議会の本会議などの録画映像を配信しています。
※令和8年3月定例議会の会議録の掲載は6月中旬の予定です

令和8年3月定例議会における議場映像ライブ配信のアクセス件数は、3983件でした。